

臨床微生物・感染症学

| | | | |
|--------------|-------------------|--------|----------|
| 責任者・コーディネーター | 看護専門基礎講座 一ノ渡 学 講師 | | |
| 担当講座・学科(分野) | 看護専門基礎講座、物理学科 | | |
| 対象学年 | 3・4 | 区分・時間数 | 講義 12 時間 |
| 期 間 | 後期 | | |
| 単 位 数 | 1 単位 | | |

・学習方針（講義概要等）

感染症の制御を理解することは、看護師にとって非常に重要である。臨床微生物・感染症学では、1年次に学修した感染免疫学を基に病院内にて検出される微生物の人体に及ぼす影響の特性を理解し、病因となる微生物の特徴について学ぶ。また、感染源と成り得る患者と感受性宿主が同一空間に存在する医療施設で従事する看護師として、医療従事者媒介感染を防止するための知識を修得する。さらに、感染症に関する看護職としての役割について理解する。

・教育成果（アウトカム）

病院内における微生物の特徴的な症状を学修することで、感染症について体系的に理解することができる。また、抗菌薬適正使用や滅菌・消毒法における update を学修することで臨床判断能力の基礎を理解することができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：3, 4

・到達目標（SBO）

1. 看護師として感染制御に関わる役割について理解できる。
2. 薬剤耐性菌などの出現防止のための抗菌薬適正使用について理解できる。
3. 院内感染防止策としての消毒・滅菌法について理解できる。
4. 性感染症防止および対策について理解できる。
5. 研究調査に用いる検定について理解できる。

・授業日程

(矢) 西 1-A 講義室

【講義】

| 月日 | 曜日 | 時限 | 講座(学科) | 担当教員 | 授業内容/到達目標 |
|-----|----|----|----------|----------|--|
| 8/4 | 木 | 3 | 看護専門基礎講座 | 一ノ渡 学 講師 | <p>看護師として感染制御における役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策に関する看護師の役割について理解し説明できる 講義・ディスカッション <p>1年次に学修した感染免疫学や基礎看護学について復習する</p> |
| 8/5 | 金 | 2 | 看護専門基礎講座 | 一ノ渡 学 講師 | <p>抗菌薬適正使用に基づいた化学療法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PK-PD 理論に基づいた化学療法について説明できる ・抗菌薬や抗ウイルス薬の作用機序について説明できる 講義・ディスカッション <p>1年次に学修した感染免疫学、特に「化学療法」の講義について復習する</p> |
| 8/5 | 金 | 3 | 看護専門基礎講座 | 一ノ渡 学 講師 | <p>免疫疾患およびアレルギーに関する化学療法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・免疫疾患やアレルギーに関わる化学療法について説明できる 講義・ディスカッション <p>1年次に学修した感染免疫学、特に「アレルギー」の講義について復習する</p> |
| 8/8 | 月 | 1 | 看護専門基礎講座 | 一ノ渡 学 講師 | <p>院内における消毒・滅菌法の update</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消毒法および滅菌法の使用基準や実際に起こりうる有害事象に関する対策について説明できる 講義・ディスカッション <p>1年次に学修した感染免疫学、特に「消毒・滅菌法」の講義について復習する</p> |

| | | | | | |
|------|---|---|----------|----------|--|
| 8/9 | 火 | 1 | 看護専門基礎講座 | 一ノ渡 学 講師 | <p>性感染症と垂直感染</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性感染症に関わる病原体について説明できる ・分娩時における感染リスクおよび垂直感染予防について説明できる <p>講義・ディスカッション</p> <p>1年次に学修した感染免疫学について復習する</p> |
| 8/10 | 水 | 1 | 物理学科 | 小松 真 講師 | <p>研究調査に用いる検定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究調査に用いる検定法について理解し、その方法について説明できる ・有意差検定、棄却検定について理解できる <p>講義・演習</p> <p>Microsoft excel を使用できる PC を持参して演習課題を遂行する</p> |
| 8/12 | 金 | 1 | 看護専門基礎講座 | 一ノ渡 学 講師 | <p>看護師(または保健師、助産師)ができる感染制御①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの講義を基に看護師または保健師・助産師ができる感染制御について学生間で話し纏めることができる <p>ショートグループ演習</p> <p>1年次に学修した感染免疫学や基礎看護学について復習する</p> |
| 8/12 | 金 | 2 | 看護専門基礎講座 | 一ノ渡 学 講師 | <p>看護師(または保健師、助産師)ができる感染制御②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショートグループで話し纏めた内容についてプレゼンテーションすることができる ・他のグループの発表内容に関して話し纏めることができる <p>ディスカッション</p> |

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

| | 書籍名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 |
|---|-----------------------------|------------|-----------|------|
| 教 | わかる！身につく！病原体・感染・免疫 第3版 | 藤本秀士 編著、他著 | 南山堂 | 2017 |
| 参 | 病気がみえる vol.6 免疫・膠原病・感染症 第2版 | 森尾友宏、他監修 | メディックメディア | 2018 |

・成績評価方法

講義内容を踏まえた課題レポート 70%、講義内プレゼンテーション 30%により評価する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

- ・シラバスに記載されている次回の授業内容及び到達目標を確認し、教科書・レジメ等を用いて事前学修（予習または復習）を行うこと。最低 30 分を要する。
- ・すでに学修した感染免疫学を基本としているので、ディスカッションに対応できる事前学修を行うこと。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

本講義の事前・事後学修については、WebClass を活用して適宜対応する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

| 使用区分 | 機器・器具の名称 | 台数 | 使用目的 |
|------|----------|----|-----------|
| 講義 | プロジェクター | 1 | 講義用スライド投影 |
| 講義 | 書画カメラ | 1 | 講義用資料投影 |